

Oliver Cann、ディレクター、メディア担当 電話：+41 (0)79 799 3405 メール：[oliver.cann@weforum.org](mailto:oliver.cann@weforum.org)

## アジアおよび世界経済に経済的不安をもたらす生産性の「ニューノーマル（新しい現実）」

- 『Global Competitiveness Report 2015-2016』（2015/2016年国際競争力レポート）で、低調な世界成長と恒常的な高い失業率に対応するため、これまで以上に高い生産性が必要な国が明らかとなる
- レポートによると、競争力向上の失敗は、景気後退やその他の打撃からの回復力を損なう
- 競争力の評価に関して、安定した状態を維持しているのはシンガポール、日本、香港で、この三国は唯一上位10位に入ったアジア経済圏である
- 中国は28位と安定しており、BRICS経済を牽引している
- レポート（全文）、解説画像、動画などの情報は、[ここからアクセスし](#)、ご確認ください。

スイス、ジュネーブ（2015年9月30日） - シンガポール（3位）、日本（6位）、香港（7位）は、自国の地位を維持し、この三国は唯一上位10位入りしたアジア経済圏となっています。多くの課題や深刻な域内経済格差にも関わらず、アジアの新興経済圏および開発途上の経済圏において、競争力は概ね回復傾向にあります。中国は28位の地位を維持し、大規模な新興国市場（いわゆるBRICS）の牽引を続けています。中国と東南アジアの多くの国が順調である一方、南アジア諸国およびモンゴル（104位）は依然として後れを取っています。東南アジア諸国連合（ASEAN）の最大加盟国である5ヶ国、すなわちマレーシア（前回より2位順位を上げ18位）、タイ（前回より1位順位を下げ32位）、インドネシア（前回より3位順位を下げ37位）、フィリピン（前回より5位順位を上げ47位）、ベトナム（前回より12位順位を上げ56位）はすべてGCIランキング全体の上位半分に入っています。

アジアのより規模の大きい新興国市場においては、大部分が悪化または停滞傾向にありますが、明るい兆しもあります。インドは5年間の悪化から脱し、16位順位を上げ55位となっています。28位に安定している中国は、世界的に大規模な新興国市場で群を抜いて最も高い競争力を維持しています。しかしながら、ランキングが上がらないことが、より持続可能な成長および開発モデルに向けて経済を移行する上で中国が直面している課題を明確に示しています。

本日発行された『Global Competitiveness Report 2015-2016』（2015/2016年国際競争力レポート）によると、生産性を押し上げ、起業家人材の活躍機会を増やす長期的な構造改革の受け入れ失敗が、生活水準の向上や、恒常的な高い失業率の改善を阻害し、今後の経済悪化に向けた十分な回復力を生み出す世界経済の能力に悪影響を及ぼしています。

本レポートは、140ヶ国の生産性と繁栄を後押しする要因の年次評価です。本年度版では、非常に競争力の高い国と世界の経済危機に耐えた、もしくは、経済危機による景気後退から速やかに回復した国家間の相関関係が明らかとなりました。景気後退により世界経済への今後の打撃が示唆されているため、特に新興国市場による競争力強化の失敗は、深刻かつ長期化する結果につながる可能性があります。

本レポートのGlobal Competitiveness Index（国際競争力指標：GCI）でも、人材を育成、魅了、活用、支援する経済の能力と競争力の間に密接なつながりが見られます。上位入りしている国はすべてこの点について順調な結果を出しています。ただし一方で、多くの国において高等教育や職業訓練を受けられる人数が非常に限られているだけでなく、雇用市場の柔軟性が不十分です。

GCIランキング1位は、7年連続でスイスです。本指標の12の柱（分類）すべてにおけるスイスの堅調なパフォーマンスは、経済危機や、それに続く打撃からのスイスの驚異的な回復力を裏付けています。シンガポール、米国はそれぞれ2位と3位をキープしています。ドイツは1位順位を上げ4位に、オランダは3年前と同じ5位に順位を下げました。安定した状態を維持する日本（6位）と香港特別行政区（7位）が上位5ヶ国に続きます。フィンランドはこれまでで最悪の8位に順位を落とし、9位にスウェーデンが続きます。そして、世界で最も競争力のある経済圏トップ10位の最後には英国がランクインしています。

GCI 2015/2016年 競争力のある経済圏  
ランキング上位10位

GCI 2015/2016年	国/経済圏	GCI 2014/2015年	
1	スイス	1	□
2	シンガポール	2	□
3	米国	3	□
4	ドイツ	5	□
5	オランダ	8	□
6	日本	6	□
7	香港特別行政区	7	□
8	フィンランド	4	□
9	スウェーデン	10	□
10	英国	9	□

ヨーロッパ圏では、スペイン、イタリア、ポルトガル、フランスが競争力強化において大きく前進しています。市場の機能改善を目指す改革条項のおかげで、スペインは前回より2位順位を上げ、イタリアは前回より6位順位を上げています。フランス（22位）とポルトガル（38位）では、製品および雇用市場における類似の改善よりも、他のエリアのパフォーマンスの落ち込みが上回っています。6月の救済措置前に収集されたデータに基づいているため、ギリシャは今年も81位にとどまっています。金融サービスへのアクセスが、ヨーロッパ圏のすべての国にとって共通の脅威であり、ヨーロッパ圏では投資を引き出す上で最も大きな障害となっています。

コモディティのスーパーサイクルの終了がラテンアメリカとカリブ海地域に大きく影響しており、同地域の成長にすでに影響しています。今後の経済的打撃に対する大きな優れた回復力には、さらなる改革、インフラへの投資、スキル、イノベーションが必要となります。チリ（35位）は依然としてこの地域のトップを占め、以下パナマ（50位）、コスタリカ（52位）が続きます。この地域における大規模経済圏であるコロンビアとメキシコはそれぞれ61位と57位に順位を上げています。ブラジルはマクロ経済の安定性と制度の評価の悪化を受け、75位に順位を落としています。

中東および北アフリカには、競争力のある経済圏と競争力が低下している経済圏が混在しています。カタール（14位）は、隣国よりも、継続しているエネルギー価格の下落のリスクに依然としてさらされているにも関わらず、アラブ首長国連邦（17位）を抑え、この地域のトップを占めています。これらの堅調なパフォーマンスは、北アフリカの国々とはまったく対照的です。北アフリカでトップの順位を占めた国はモロッコ（72位）とヨルダン（64位）率いるレバント地域です。地政学的紛争やテロの脅威の大きな被害を受けるこの地域の国々は、事業環境の改善と民間部門の強化に重点的に取り組む必要があります。

サハラ以南のアフリカは、5%近くまで成長を続けていますが、競争力と生産力は依然として低迷しています。特にこの地域の国々は、物価変動、海外投資家からの綿密な調査、人口増加に直面しており、この地域の国々が取り組む必要のある課題となっています。モーリシャス（46位）は依然としてこの地域で最も競争力のある経済圏の位置を維持しており、次いで、7位順位を上げた南アフリカ（49位）とルワンダ（58位）がこれに続きます。コートジボワール（91位）とエチオピア（109位）はこの地域における今年最大の競争力の向上国として抜きん出ています。

「第4次産業革命は、全く新しい産業および経済モデルの出現とその他の急速な衰退を促進しています。この新しい経済的展望において競争力を維持するためには、人材やイノベーションなど生産性の重要な原動力にかつてないほど重点を置くことが必要となるでしょう」と世界経済フォーラムの創設者兼会長であるクラウス・シュワブ氏は述べています。

「生産性の成長停滞というニューノーマル（新しい現実）は、世界経済を重大な脅威にさらし、失業や所得不平等などの重要な課題に対応する世界の対応力に深刻な影響をもたらします。改革、そしてイノベーションや雇用市場などのエリアへの投資をリーダーの方々に優先してもらうことこそ、この状況に対する最善の

対応策です。これにより、起業家能力のある人材がさらに活躍機会を広げ、人的資源の繁栄が可能となります」と米国コロンビア大学のザビエル＝サラ＝イ＝マーティン経済学部教授は述べています。

## 編集者注記

『Global Competitiveness Report』（国際競争力レポート）の競争力ランキングは、2004年に世界経済フォーラムによって導入されたGlobal Global Competitiveness Index（国際競争力指標：GCI）に基づいています。競争力を国の生産力のレベルを決定する制度、政策、要因の組み合わせであると定義するGCIスコアは、国の競争力の全体像を構成する12の分類（競争力の柱）に関する国レベルのデータに基づいて計算されています。12の柱（分類）には、制度、インフラ、マクロ経済環境、医療および初等教育、高等教育および職業訓練、財市場の効率性、雇用市場の効率性、金融市場の成熟、テクノロジーの応用力、市場の規模、ビジネスの成熟度、イノベーションが含まれます。

『Global Competitiveness Report 2015-2016』（2015/2016年国際競争力レポート）：<http://wef.ch/gcr15>

Global Global Competitiveness Index（国際競争力指標）ランキング（全ランキング）（[PDF](#)または[Excel](#)形式）のダウンロード：

フォーラム **Twitter**：<http://wef.ch/twitter> / <http://wef.ch/livetweet>

ハッシュタグ：[#GCR15](#)

フォーラム **Facebook**：<http://wef.ch/facebook>

フォーラム **ブログ**：<http://wef.ch/blog>

今後のフォーラム関連イベント：<http://wef.ch/events>

フォーラムの**プレス** リリースの購読：<http://wef.ch/news>

---

世界経済フォーラム（World Economic Forum）は、各界のリーダーのグローバル、地域、そして産業アジェンダの向上にむけた参画を通して、世界情勢の改善に取り組む独立した国際機関です。

1971年にスイスのジュネーブに本部を置く非営利財団として設立された世界経済フォーラムは、いずれの利害関係にも関与しない独立・公正な機関です。（<http://www.weforum.org>）。



World Economic Forum, 91-93 route de la Capite, CH-1223 Cologny/Geneva  
Tel. +41 (0)22 869 1212, Fax +41 (0)22 786 2744, <http://www.weforum.org>